

最終総合評価に伴うモニタリングチェックシート(平成22年度)

施設名	練馬文化センター 大泉学園ホール
指定管理者名	共立・日東共同事業体
評価者	指定管理者選定委員会

<評価>

優 : 特筆すべき実績・成果が認められるもの

良 : 管理運営が良好と認められるもの

要改善 : 一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 効率的運営・効率化への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画書で提案された収支計画の目標を達成できているか ・ 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか ・ 管理業務費の経理については、別に会計を設けて処理しているか ・ 帳簿等を整備して、管理業務費の執行状況等を記録しているか ・ 利用料金の収入状況は良好か 	良	平成20年度の利用料金収入は減免制度の変更により予算額に比して少なくなっているが、一方、支出は経費削減努力により抑えられている。事業も計画書に則って実施され、適正で効率的な施設維持管理がなされている。
2 施設管理運営体制 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の再委託における範囲は適正か ・ 再委託する際に、区内事業者の活用につとめているか ・ 物品を調達する際に、区内業者から調達するようつとめているか ・ 職員の配置は適正か ・ 職員について区内雇用の促進を図っているか ・ 職員の採用選考および勤務条件について、関係法令を遵守しているか ・ 設備の保守点検は適切に行われているか ・ 備品の管理は適切に行われているか ・ 人権について職員研修を行うなど、職員の育成につとめているか ・ 損害保険等の加入状況は適切か 	良	設備の保守点検など再委託については、適切に実施されている。また、職員配置や区内雇用の促進、積極的な研修による職員教育など成果が認められる。なお、ホール設備の業務などの再委託先は高度な専門性を有する事業者に限られるが、物品調達における区内業者の活用には工夫の余地がある。
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを進めているか ・ 苦情処理の規定と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか ・ 自主事業の実施にあたっては、事前に区の承認を得ているか ・ 自主事業の実施状況は良好か 	良	接客マナー研修や人権・セクハラ研修の実施などサービス向上に向けた取組を進めるとともに、苦情処理については適切に対応している。なお、施設利用者の公演記録や装花の手配など利便性を高めるワンストップサービスの提供に工夫の余地がある。
4 法令遵守等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理業務で知りえた秘密を保持する方を講じているか ・ 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか ・ 練馬区情報セキュリティポリシーに定める水準と同等もしくはそれ以上の水準を保障する対策を講じているか ・ 個人情報保護条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか ・ 情報公開条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか ・ 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 	良	個人情報保護規程や情報公開規定を区条例に準拠して独自に定め、また、適切な危機管理体制の確立などコンプライアンスの徹底を図っている。環境負荷低減についても、ISO14001システムに則り積極的に取組んでいる。
5 利用者評価等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケート等の評価は良好か ・ 運営協議会等の評価は良好か 	良	平成20年度には施設の利用者アンケートを実施し、また、平成21年度には施設利用者懇談会を開催して、それぞれ、おおむね良好との評価を受けた。
総合評価	(講評)	
良	総合責任者の下に各業務の責任者を置く適正な職員配置に努めるなど施設の管理運営体制は適切である。個人情報保護規程を独自に定めるとともに積極的な職員研修の実施など法令遵守への取組に努めている。また、適切な苦情対応を実施してサービスの維持・向上に努めるとともに、効率的な施設管理・運営に努めている。	